

第23回「若手の会」および「若手育成のための合同会合」報告

報告 概要

参加者数は微増傾向にあり、盛況に開催されました。

1. 若手の会 第23回会合

千葉工業大学で開催された第123回秋期大会の2日目の昼食時間（2012年11月11日、12:30～13:30）に若手の会を開催いたしました。合計45名の企業、大学の幅広い分野の若手研究者の方々にお集まりいただきました。従来、40名弱の参加者でしたが、昨今の社会状況に反して増々盛況な若手の会を世話役として嬉しく思います。

まず、ヤマハ発動機㈱の栗本幸広様よりご講演いただきました。栗本さんは、東海支部の若手の会でも活躍されているとのこと。昨今のバイクへのアルミニウムの適用事例をお話いただき、一部の車種ではアルミニウム化により部品点数の削減から鉄よりもアルミニウムの方がむしろコスト削減になるとのことでした。仕事内容では、やりがい（運転したときの達成感、立上げ記念写真）、辛さ（幅広い知識が必要、自分の開発の遅れが関係者に多大な迷惑をかける）、今後の目標（自分が開発したものが、世に出て有名になってほしい）、将来の夢（誰からも頼りにされる技術屋に）等のお話をいただきました。アルミニウム業界および学生の参加者にとって大変興味深い講演内容だったと思います。

続いて、千葉工業大学、本保研究室の西田総太さんよりご講演いただきました（写真1）。水素燃料用材料として急冷凝固アルミニウム合金の研究をされており、製造方法と水素発生量の検討についてのお話をいただきました。堂々と講演され今後ますますの活躍が期待されます。

今回、若干、若手の会らしからぬ硬い雰囲気になってしまったことを運営側としてお詫び申し上げます。次回は若者らしく、わいわい楽しく盛り上がる会合にしたいと考えております。

会場や昼食の準備にご尽力いただきました第123回秋期大会実行委員の皆様、特に千葉工大の皆様はこの場を借り厚く御礼を申し上げます。

2. 若手育成のための合同会合

「若手育成のための合同会合」を、今大会においても実施

しました。開催は大会前日の11月9日（金）。津田沼駅近傍の居酒屋「酔虎伝」にて、親睦を深めました（写真2）。合計12名、内訳として企業4名、学生8名の参加でした。自己紹介大会では、おめでたいお話も飛び出しました。また、学生同士の会話では、特に地方の大学生からはバイクや車の話題で盛り上がりました。このあたり、若者の車離れバイク離れと叫ばれて久しいですが、実情はやや異なると感じました。合同会合を実施してから、特に参加した学生から、「他大学の学生と交流できて嬉しい」といった意見を多く聞きました。全国の同世代の軽金属の関係者と交流することで、孤独ではないことを認識し、お互いに切磋琢磨しようというやる気につながっていくのであろうと思います。

以上のように、若手の会では若手研究者の横のつながりを深める場を提供しております。今回の大会においても、学会の懇親会、休憩時間、移動中。いろんな場所で、若手研究者同士が、発表内容についてディスカッションをしたり、談笑していたりする姿を多く見るようになりました。本会の会合も23回を数え、着実にこの世代の輪が広がっているように感じます。次回以降も、活動の継続と増強を計画しております。次回の富山では、新しい試みに挑戦する予定です。どうぞご期待ください。今後とも皆様のご参加をお待ちしております。

若手の会世話人 名古屋大学 久米裕二
群馬大学 西田進一（文責）
住友軽金属工業㈱ 岩村信吾

追記：今回撮影した写真を、参加者の皆様に公開しております。URLとパスワードをお送りしますので、閲覧を希望される方は、下記若手の会メールアドレスまでメールをお送りください。また、若手の会の活動内容に対してのご要望なども是非お聞かせ下さい。

若手の会メールアドレス：keikinwakate@gmail.com

※メールタイトルに必ず、「若手の会の写真」と記載ください。（メールフィルタを設定しております。）



写真1 若手の会、西田総太さんのご講演



写真2 合同会合での集合写真